

寺報【和顔愛語】第十三版 発行のお知らせ

秋涼の候、御檀家の皆様に於かれましては益々ご清祥のことと存じます。

さて、寺報内にも記載させて頂きましたが、来年は法然上人が浄土宗を開かれて850年にあたる年となります。同封されております令和版結縁交名に、「南無阿弥陀仏」とお念仏をなぞって頂き、当寺へお持ち頂きました方に、限定の透かし御朱印を差し上げます。

この機会でしか手に入れる事の出来ない限定の御朱印ですので是非お持ち頂ければと存じます。

また、住職が所属しております増上寺雅楽会に於いて「縁山流声明と雅楽の夕べ」と題し、増上寺の声明、また雅楽の演奏会を行います。

本年は住職が舞を務めます演目「納曽利」を披露する予定ですのでお時間ございましたら是非お越し頂ければと存じます。

まもなく秋のお彼岸となります。御来寺の際はどうぞお気を付けてお越し下さい。

正定寺・静蓮寺住職 原 善順 拝

※裏面に案内がございます

縁山流聲明と雅楽の夕べ

令和5年12月1日（金）

午後6時開演

於：大本山増上寺大殿

参加費無料

演目の詳細は第二部の舞楽「納曾利」

のみ確定しております

その他詳細につきましては

お近くなりましたら当寺にて

掲示致します



同封されておりますこちらの用紙に

南無阿弥陀仏と筆でなぞって頂き

（漢字、ひらがなは片方で構いません）

御名前をご記入の上、当寺へお持ち下さい

限定の特別御朱印と交換致します

